科目名	コーチング実習A					年度	2024		
英語科目名	Coaching Practical Training A				学期	前期			
学科・学年	スポーツ健康学科 サッカーコース 1年次	必/選	選※	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	八重樫	教員の実務経験		有	実務経験の職種 クラブチーチとして行		-ムにてサッカーコー ¥事		

【科目の目的】

小学生の年代に必要とされるサッカー指導法、各年代にあったコミュニケーションスキル、デモンストレーションスキル、プ レゼンテーションスキル、外傷応急処置、タイムマネジメントなどを理解、習得する。

【科目の概要】

サッカースクール、学内などでコーチングの現場実習を行います。

【到達目標】

- A. 担当教員または受入先担当者の意向に沿った指導法振る舞い、サポートに注意を払い行える
- B. ジュニア年代サッカー指導法を学び、吸収、獲得できる
- C. 年代にあったコミュニケーションを行い、スキル向上ができる D. デモンストレーションやプレゼンテーションを適切な時に行える
- E. 安全面を配慮した場の設定や休憩時間の設定、保護者対応が適切な時に行える

【授業の注意点】

遅刻、欠席の場合は、担当教員へ電話連絡をすること。実習にふさわしい服装や個人用具を準備し授業に参加すること数の4分の3以上出席しない者は評価することができない。

評価基準=ルーブリック								
ルーブリック 評価	レベル 5 優れている	レベル 4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル 1 要努力			
到達目標 A	担当教員または受入先 担当者の意向に沿った 指導法振る舞いサポー トに注意を払い行える		担当教員または受入先 担当者の意向に沿った 指導法振る舞いサポー トを行える		担当教員または受入先 担当者の意向に沿った 指導法振る舞いサポー トを行えない			
到達目標 B	ジュニア年代サッカー 指導法を学び、吸収、 獲得できる		ジュニア年代 サッカー指導法を 学べる		ジュニア年代 サッカー指導法を 学べず、獲得 できない			
到達目標 C	年代にあった コミュニケーション を行い、スキル向上が できる		年代にあった コミュニケーション を行える		年代にあった コミュニケーション を行えない			
到達目標 D	デモンストレーション やプレゼンテーション を適切な時に 行える		デモンストレーション やプレゼンテーション を行える		デモンストレーション やプレゼンテーション が行えない			
到達目標 E	安全面を配慮した場の 設定や休憩時間の設定 保護者対応が適切な時 に行える		安全面を配慮した場の 設定や休憩時間の設定 保護者対応が行える		安全面を配慮した場の 設定や休憩時間の設定 保護者対応が行えない			

【教科書】

配布プリント

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

試験と課題を総合的に評価する。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名 英語表記		コーチ	年度)24		
			Coaching Prac	tical Training A	学期	前	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容 到達目標=修得するスキル			評価方法	
1 現場実習1		1 現場実習前	担当教員などの指示の上、準備、練習の打合せを:	適切に行	14	ť	
		2 現場実習中	える 担当教員など主導の上、準備、練習補助などを適	を適切に行え			
		3 現場実習後 担当教員など王導の上、振返りを行		合め	1		
		1 現場実習前	る。 担当教員などの指示の上、準備、練習の打合せを:	適切に行		t	
2 現場実習2	現場宝習2		1 現場美智則 える 2 現場実習中 担当教員など主導の上、準備、練習		適切に行え		
		2 元物表自中 る					
		1 現場実習前	る。 担当教員などの指示の上、準備、練習の打合せを:	適切に行		ł	
3	現場実習3		1 現場実習中 える 2 現場実習中 担当教員など王導の上、準備、練習補助などを適			2	
o	売売 日 3			る 担当教員など主導の上、振返りを行い習熟度を			
		3 現場実習後	る。 担当教員などの指示の上、準備、練習の打合せを:			Ŧ	
		美習4	1 現場実習前	える 担当教員など主導の上、準備、練習補助などを適	5打1777-3		
4	現場実習4		2 現場実習中	担当教員など王導の上、振返りを行い習熟度を		2	
			3 現場実習後	る。			1
			1 現場実習前	担当教員などの指示の上、準備、練習の打合せを える			
5	現場実習5		2 現場実習中	担当教員など主導の上、準備、練習補助などを適る		2	
		1実習6	3 現場実習後	担当教員など王導の上、振返りを行い習熟度を る。			l
			1 現場実習前	担当教員などの指示の上、準備、練習の打合せを:	適切に行		Ī
6	現場実習6		2 現場実習中	担当教員など主導の上、準備、練習補助などを適る	切に行え	2	l
			3 現場実習後	担当教員など王導の上、振返りを行い省熟度を ス	/ 局め		
		-	1 現場実習前	担当教員などの指示の上、準備、練習の打合せを	適切に行		1
7	現場実習7		2 現場実習中	たる 担当教員など王導の上、準備、練習補助などを適 フ	切に行え	2	
32,30,74,11		3 現場実習後	担当教員など王導の上、振返りを行い省熟度を	/ 局め	ŀ		
		- 学内などの現場実習に てジュニア年代サッ	内などの現場実習に <u> </u>		を適切に行		ł
8 現場実習8	現場実習8	カー指導法、コミュニ	2 現場実習中	える 担当教員など主導の上、準備、練習補助などを適		2	
_	-	ケーションスキル、プ レゼンテーションスキ	3 現場実習後	りょう とうしゅう とうしゅう とうしゅ しゅう とうしゅ しゅう とうしゅ しゅう とうしゅ しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう			l
		ルなどを習得する。			を適切に行		ł
9	1111年7月0		2 現場実習中	える 担当教員など主導の上、準備、練習補助などを適	切に行え	0	l
9	現場実習9			る 担当教員など王導の上、振返りを行い習熟度を		2	
			3 現場実習後	ろ。 学生が中心となりメニュー作成、準備、実践の打合せを			Ŧ
10 現場実習10			1 指導実践前	える 学生が中心となりメニュー作成、子供たちに指導			l
	実習10	2 指導実践中	える	! 実践を仃		l	
		3 指導実践後	学生と担当教員などにより実践の振返りを行え			1	
			1 指導実践前	学生が中心となりメニュー作成、準備、実践の打合せを える			l
. 1	現場実習11	習11	2 指導実践中	学生が中心となりメニュー作成、子供たちに指導 える	夫践を打	2	l
		3 指導実践後	学生と担当教員などにより実践の振返りを行え				
12 現場実習12		李漢智12	1 指導実践前	学生が中心となりメニュー作成、準備、実践の打合せを える			l
	現場実習12		2 指導実践中	字生が中心となりメニュー作成、子供たちに指導 える	実践を行	2	l
		3 指導実践後	学生と担当教員などにより実践の振返りを行え	こる	Ì		
13 現場実習13		3	1 指導実践前 学生が中心となりメニュー作成、準備、実践の打合		適切に行		Ī
	現場実習13		2 指導実践中	学生が中心となりメニュー作成、子供たちに指導 える	実践を行	2	2
	_	3 指導実践後	学生と担当教員などにより実践の振返りを行え			l	
		1 指導実践前	学生が中心となりメニュー作成、準備、実践の打合せを	適切に行		t	
14 現場実習14	現場実習14	実習14	2 指導実践中	える 学生が中心となりメニュー作成、子供たちに指導:	実践を行	2	l
	>= >> > = H + 1		3 指導実践後	える 学生と担当教員などにより実践の振返りを行え	· ろ	~	
		 	1 指導実践前	学生が中心となりメニュー作成、準備、実践の打合せを			Ŧ
15 現場実習15	相担宝羽15			える 学生が中心となりメニュー作成、子供たちに指導	実践を行	1	1
			2 指導実践中	える		2	
			3 指導実践後	学生と担当教員などにより実践の振返りを行え	こる		I

評価方法:1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他 自己評価:S:とてもよくできた、A:よくできた、B:できた、C:少しできなかった、D:まったくできなかった 備考 等